

令和6年度 三河小中学校長会役員・理事・評議員会

令和6年8月9日（金） 14：00

岡崎ニューク^ラント^ホテル 飛竜の間

1 あいさつ

2 本日の日程

- 役員・理事・評議員会 14：00～15：00 「飛竜の間」(3F)
- (公財)日本教育公務員弘済会愛知支部 補助金贈呈式
15：00～15：30 「飛竜の間」(3F)
- 休憩 15：30～16：45
※会場模様替えのため、一度会場を空ける。設営ができれば入室可。
- 主催団体代表打合会 (一部の方) 16：00～16：20 「巽の間」(2F)
- 三河教育懇談会 受付 16：20～16：50 3Fロビー
開会 17：00～ 「飛竜の間」(3F)

3 関係団体連絡

- ・ 県校長会

- ・ 三教研

- ・ 県校長会事務局

4 協議事項

(1) 三河教育懇談会の運営について

- ① 概要
- ② 参加予定者数
- ③ 進行計画
- ④ 運営案
- ⑤ 予算案
- ⑥ その他

(2) 各専門委員会・部会の当面する課題等について

(3) 後援名義・事業推薦申請について

(4) その他

5 その他

(1) 各専門委員会・部会の報告について

- | | |
|---------|---------|
| ①法 制 | ②教育条件 |
| ③学校経営 | ④進 路 |
| ⑤保健体育 | ⑥福祉安全 |
| ⑦給 食 | ⑧生徒指導 |
| ⑨特別支援教育 | ⑩修学旅行特別 |
| ⑪教育課題特別 | ⑫広報 |
| ⑬東陸小特別 | ⑭東陸中特別 |

(2) 各会合の研修内容について

(3) 令和7年度郡市別学校数調査について

(4) 令和7年度全国・東海北陸規模の研究大会調査について

(5) 委員会・研修会等の報告について

- ・令和6年度東海北陸中学校長会研究協議会の報告について

(6) その他

- ・令和7年度合同研修会講師の推薦について
- ・全連小人権教育委員会調査への協力について

6 情報交換

【次回案内】

役員・理事会、郡市代表者会

期日：令和6年10月7日（月）13：30より 会場：岡崎市竜美丘会館（302）

校長研修会

講師：早稲田大学 教授 藤井 千春 氏

演題：（仮）校長の哲学

※校長研修会後に「愛知県教育振興会・三河支部長会」を開催する予定

※懇親会はありません。

令和6年8月9日

三河小中学校長会 役員・理事・評議員会

会長 彦坂 登一郎

1 はじめに ※P2 参照

2 会長説明事項

(1) 三河教育懇談会について

“何のために県知事を御招待して大規模な会合を開くのでしょうか？”

(2) 6/11 メール依頼「三河小中学校長会の組織構成に係る意見聴取について」の確認

・別紙2「報告書」電子データを、9月2日(月)までに以下アドレスへ添付送信してください。
<メールアドレス> hikosaka-touichirou@school.tahara.ed.jp

(3) 校長研修会について “評議員の方も興味があればご参加ください！”

ア テーマ 「教師を育てる学校経営」

イ 研修計画

	月 日	内 容
1	10月 7日(月)	講話：校長の哲学(仮題) 講師：早稲田大学 教授 藤井 千春 様
2	11月 8日(金)	講話：求める校長像(仮題) 講師：蒲郡市教育委員会 教育長 壁谷 幹朗 様

3 会長活動報告

期 日	内 容
6月11日	愛知県PTA連絡協議会総会(愛知芸術文化センター)
6月12日	愛知県公立小中学校教頭会総会(日本特殊陶業市民会館)
6月14日	愛知県小中学校長会地域代表者会(県教育会館)
6月21日	愛知県退職教職員互助会定時評議員会(ウィンクあいち)
6月24日	校長会・三教研・文振との連絡会(三河教育会館) 愛知県PTA連絡協議会役員会・理事会(県教育会館)
6月28日	三河PTA連絡協議会役員会・理事会(安城市へきしんギャラクシープラザ)
7月02日	愛知教育文化振興会運営審議会(三河教育会館)
7月03日	愛知県教育振興会子とともに ゆう&ゆう専門委員会(KKRホテル)
7月08日	県小中学校長会常任委員会・評議員会(県教育会館)
7月09日	愛知県退職教職員互助会理事会(県教育会館)
7月24日	校長研修会講演依頼(藤井千春先生・横浜市)
7月25日	三河教育懇話会(岡崎ニューグランドホテル)
7月26日	中高一貫教育具体化検討部会(ウィルあいち) ※P3 参照
7月29日	愛知県教育振興会役員会・理事会(県振興会)
8月09日	三河小中学校長会役員・理事会、評議員会、 三河教育懇談会主催団体打合せ会 三河教育懇談会(岡崎ニューグランドホテル)

「AI×自由進度学習」の弊害



堀越 勉
千代田区立翹町中学校校長
(東京都中学校長会会長)

校長塾

経営力を高める
最重要ポイント

— 544 —

ある大学から、講演の依頼があった。テーマは「AI×自由進度学習」の成果。本校においては、学力低下に結び付いている現状を説明し、丁重にお断りした。主催者の趣旨と真逆の現状が目の前にある。夢のある「虚像」を語る

依存や「自習化」招き学力低下

と正対すること
を避けてきた
たのかもしれない。

ようなことをしてはならないと私は考える。

しかし、校長は、過去に縛られる必要はない。

特色ある教育実践がマスコミなどで大々的に取り上げられ、注目を集める学校があるが、退職や異動などにより校長が代わ

は、毎年同じように繰り返されている。これは、本校の仕組みと指導力低下に原因があり、生徒に責任はない。

ソフト会社の設定した無料期間終了に伴い、長田和義前校長の英断により、AIソフトの契約は打ち切られている。

全国規模の校長会の席上で、他県の校長から「AI×自由進度学習」による指導力低下と学力低下の話があった。AIと自由進度学習は、生徒も教員も依存度が高くなる。いかにも、個別最適な学びを実現しているからだ。

な提案を全国に発信してきたと聞く。「主体性」の旗印の下、自由進度学習を掛け合わせる形で活用してきた。

生徒の学力の経年変化はどうだろう？ 全国的に展開している標準学力テストの結果を精査してみた。入学時から1年間で数学の偏差値が毎年3〜4程度下がる。場合によっては5下がる学年もある。偏差値の低下

のような錯覚に陥る。経験の少ない教員の授業は「自習化」すると言っただ。使用しているソフトは、本校と同じものだった。

本校ではAIに依存した指導と、前回述べた「授業研究や学習指導案は不要」といった考え方が掛け算となり、このような状況を招いた。しかし、AI導入のトップランナーのように宣伝されてきた経緯があり、現実

論点1 教育内容に関すること (第二次導入校)

1 第二次導入校 (愛知県 中高一貫教育導入方針)

類型	タイプ	設置高校名・ 接続する学科	中学校 コース名	導入 形態	1 学年 学級数・ 生徒数
探究学習 重視型	SSH実施校	豊田西 普通科	普通 コース		2 学級 80人
	SSH実施校 ※国際バカロレアの導入を目指す グローバル探究実施校	時習館 普通科	普通 コース		2 学級 80人
高度もの づくり型	※国際バカロレアの導入を目指す	西尾 普通科	国際探究 コース	併設型	2 学級 80人
	AI・データサイエンスに興味・ 関心を持つ生徒の能力、可能性を 引き出す学校	愛知総合工科 理工科	(仮称) 理工 コース		1 学級 40人
地域の教 育ニーズ 対応型	不登校経験のある生徒の能力、可 能性を引き出す学校	日進 普通科	学びの多 様化学校	連携型	1 学級 40人まで
	外国にルーツのある生徒の能力、 可能性を引き出す学校	衣台 普通科	—		—
	地域を支える人を育てる学校	美和 普通科・ 地産深究科	—	—	—

2 各導入校の教育内容の主な特色 (今回検討)

- (1) 豊田西高校併設中学校
- SSHの活動をベースに、教科横断的で文理融合の探究的な学びに取り組む。
⇒ 実践的な英語など世界で活躍できるコミュニケーション能力を高める学び
- (2) 時習館高校併設中学校
- SSHとAGHの活動をベースに、教科横断的で文理融合の探究的な学びに取り組む。
※ AGH (あるいはグローバルハイスクール) : 文部科学省の「スーパーグローバルハイスクール (SGIH)」の取組を継承した事業
 - 中学校・高校への国際バカロレアの導入を目指す。
⇒ 理数教育や国際理解教育をベースとした、文理融合の探究的な学び
・ 高校について全日制学年制から全日制単位数制へ改編

○は導入方針における導入のイメージ
⇒は各学校のコンセプト

- (3) 西尾高校併設中学校
- 地域を土台として世界へ「地域から世界へ」「世界から地域へ」の双方向の視点から、グローバルな探究学習に取り組む。
※ グローバル：グローバルとローカルを組み合わせた造語で、地球規模の視野で地域の課題について考えること
 - 中学校・高校への国際バカロレアの導入を目指す。
⇒ 「地域から世界へ」「世界から地域へ」の双方向の視点を育むグローバルな学び
- (4) 愛知総合工科高校併設中学校
- 工科高校の施設と教員を生かした中高一貫教育。
 - 中学校段階からものづくりやAI・データサイエンスに触れ、中高6年間、専攻科を含めると8年間で、DXをリードする人材を育成。
⇒ AI・データサイエンスをもつづくりに活かし、産業界を革新していくDX人材の育成

- (5) 日進高校併設中学校
- 年間総授業時間を削減できる「学びの多様化学校 (不登校特研校)」として設置し、不登校経験のある生徒が、高校卒業まで安心してゆとりをもって学ぶことができる中高一貫教育。
⇒ 個々の生徒に寄り添った学びにより一人一人の可能性を伸ばす
・ 高校について全日制学年制から全日制単位数制へ改編

- (6) 衣台高校
- 外国にルーツのある生徒の能力、可能性を引き出す連携型中高一貫教育。
 - 日本語だけでなく母語にも配慮した授業。
⇒ 中高連携による異文化理解、多文化共生をテーマとした探究学習、キャリア教育

2024年度：連携教育の取組を開始
【連携中学校】豊田市立保見中学校
2026年度：連携教育を受けた生徒が初めて高校に入学

- (7) 美和高校
- 地域での様々な活動を通して、地域を支える人を育てる連携型中高一貫教育。
 - 地域の課題やニーズに対応した教育内容。
 - 地域や大学等と連携したキャリア教育の推進。
⇒ 中高連携による地域に関する探究学習

2024年度：連携教育の取組を開始
【連携中学校】あま市立七宝中学校・七宝北中学校・美和中学校・
甚目寺中学校・甚目寺南中学校、大治町立大治中学校
2026年度：連携教育を受けた生徒が初めて高校に入学

三河小中学校長会役員・理事会、評議員会資料

令和6年8月9日（金）

愛知県小中学校長会事務局

1 県教育予算陳情について

令和7年度に向けての「県教育予算陳情」について、三河出身の県議への名簿を各郡市から提出していただきました。（該当の郡市：岡崎市・豊田市・豊橋市・豊川市・新城市）

10月8日（火）に開催予定の県教育予算学習会を経て、10月下旬から11月中旬にかけて、予算陳情を行っていただく予定となっています。令和7年度の県教育予算を左右するきわめて重要な活動です。よろしくお願いいたします。

2 全連小発行図書・全国中学研究校便覧・退公連準会員入会について

各郡市での取りまとめ、並びに代金・会費の納入を行っていただきました。お手数をおかけしました。ありがとうございました。

3 県校長会事務局の作品展示について

令和5年8月から1年間、成瀬美香校長先生（豊田・足助小）の書、中神和也校長先生（豊橋・汐田小）の絵画を県校長会事務局会議室に展示させていただきました。訪れる校長先生方、そして私たち事務局員の心を和ませていただきました。誠にありがとうございました。

令和6年8月からは、石川幸浩校長先生（蒲郡・塩津中）の書、中嶋 桂校長先生（豊川・小坂井東小）の作品を展示させていただきます。県教育会館へお越しの際は、ぜひ事務局にお立ち寄りください。

三河教育懇談会の概要

- 1 日 時 令和6年8月9日(金) 午後5時～
- 2 会 場 岡崎ニューグランドホテル TEL 0564-21-5111
- 3 主 催 三河教育懇談会
三河部都市教育長協議会、三河部町村教育長協議会
三河小中学校長会、三河教育研究会
愛知県教育委員会三河支部会、三河教頭会
三河小中学校PTA連絡協議会、三河教員組合連絡協議会

- 4 主 賓 愛知県知事 大村 秀章 様

- 5 来 賓 岡崎市長 中根 康浩 様
愛知県教育委員会 教育長 飯田 靖 様
同 教育長職務代理者 岡田 豊 様
同 委員 度會 秀子 様
同 委員 河野明日香 様
同 委員 野杵 晃充 様
同 委員 内田 智子 様
同 事務局長 川口 佐織 様
同 事務局次長 坂川 智 様
同 教育部長 橋本 具征 様
同 教育改革監 高木 健一 様
愛知県学校給食会 理事長 高橋 伸至 様
愛知県教育・スポーツ振興財団 理事長 岡本 範重 様
日本教育公務員弘済会 愛知支部長 岩間 博 様

※県教育委員会は、委員会が出席者を決定する。(H29～)

- 6 参 加 者 市町村教育委員会教育長
三河小中学校長会
三河教育研究会
愛知県教育委員会三河支部会
三河教頭会
三河小中学校PTA連絡協議会
三河教員組合連絡協議会
教育関係諸団体

7 次 第

進行：三河小中学校長会副会長（原田 憲一）

【知事が最後までみえる場合】

- | | | | |
|-----|---------|--------------|---------|
| (1) | 開会のことば | 三河教頭会長 | 朝倉 啓全 |
| (2) | 主催者代表挨拶 | 三河部都市教育長協議会長 | 壁谷 幹朗 |
| (3) | 来賓挨拶 | 岡崎市長 | 中根 康浩 様 |
| (4) | 来賓紹介 | 三河教育研究会長 | 柴田 昌一 |
| (5) | 知事講話 | 愛知県知事 | 大村 秀章 様 |
| (6) | お礼のことば | 三河小中学校長会長 | 彦坂登一朗 |
| (7) | 乾 杯 | 三河教育懇談会顧問 | 岩月 慎自 |
| (8) | 懇 談 | | |

- | | | | |
|------|--------|---------------------|-------|
| (9) | 万 歳 | 三河部町村教育長協議会長 | 池田 和博 |
| (10) | 閉会のことば | 三河小中学校 P T A 連絡協議会長 | 今井 隆喜 |

【知事途中退席の場合】

- | | | | |
|------|--------|---------------------|-------|
| (9) | 万 歳 | | |
| | 知事退席時 | 三河部町村教育長協議会長 | 池田 和博 |
| | 全 体 | 三河教員組合連絡協議会長 | 伊東 利典 |
| (10) | 閉会のことば | 三河小中学校 P T A 連絡協議会長 | 今井 隆喜 |

8 会費 8,000円

9 当日の日程

- 役員・理事会・評議員会 14:00～
- 主催団体打合せ 16:00～
- 三河教育懇談会 17:00～

10 その他

令和6年度 三河教育懇談会参加要請予定者数

(令和6年 8月1日)

番号	各種団体名	本年度		昨年度	
		案内送付数	出席者	案内送付数	出席者
1	主賓・来賓	15	6	17	8
2	市町村教育委員会教育長	18	13	18	16
3	三河小中学校長会 (役員・理事・評議員、県正副委員長・部長)	103	103	108	92
4	三河教育研究会(役員)※含附属以外の会計2名	7	33	8	28
5	同 (支部長)	9		10	
6	同 (部会長・委員長)	12		13	
7	同 (幹事・庶務・会計⇒附属)	7		7	
8	愛知県教育委員会三河支部会	59	48	54	35
9	三河教頭会	27	25	24	23
10	三河小中学校PTA連絡協議会	10	4	8	4
11	三河教員組合連絡協議会	23	23	23	22
12	教育関係諸団体	13	10	20	11
合 計		303	265	310	239

(兼務者等重複を除く)

令和6年度 三河教育懇談会進行計画

- 16:00 主催団体代表打合せ（2階：巽の間）
- 16:50 市町村教育長、関係団体入場（控室：2階：ふじの間）※入場完了16:53
- 16:50? 知事到着予定（控室：3階：瑞雲の間、受付1F）
- 16:52 来賓入場案内（控室：3階：瑞雲の間⇒3階：飛竜の間）
 ※ 16:55 来賓入場完了⇒来賓の着席を確認
- 16:55 知事入場案内（控室：3階：瑞雲の間⇒3階：飛竜の間）
 ※ 16:57 知事会場入り口へ ⇒ 来賓着席完了の合図を受け、入場
- 17:00 開会行事 【司会】原田憲一 三河小中学校長会副会長
 開会のことば（1分）朝倉啓全 三河教頭会長
 主催者代表あいさつ（3分）壁谷幹朗 三河部都市教育長協議会長
 来賓あいさつ（3分）中根康浩 様 岡崎市長
 来賓紹介（2分）柴田昌一 三河教育研究会長
- 17:10 知事講話（20分）大村秀章 様
- 17:30 お礼のことば（3分）彦坂登一朗 三河小中学校長会長
- 17:33 乾 杯 岩月慎自 三河教育懇談会顧問

	懇 談	(65分)	
	食 事	(10分)	
18:48	万 歳		池田和博 三河部町村教育長協議会長
18:50	閉会のことば	(1分)	今井隆喜 三河PTA連絡協議会長
18:51	知事退場		
18:53	来賓退場		
19:00	終 了		

【知事途中退席の場合】※乾杯後20分程で(18:00までに)退席予定との連絡あり

退場時 (18:00頃)	万 歳①		池田和博 三河部町村教育長協議会長
	懇 談	(40分)	
18:40	食 事	(10分)	
18:50	万 歳②		伊東利典 三河教員組合連絡協議会長
18:52	閉会のことば	(1分)	今井隆喜 三河PTA連絡協議会長
18:53	来賓退席		
19:00	終 了		

三河教育懇談会運営案

8月6日現在案

[期日] 令和6年8月9日(金)

[会場] 岡崎ニューグランドホテル 3F「飛竜の間」

1 役員・理事会・評議員会	14:00~15:45	3F「飛竜の間」
----------------------	--------------------	-----------------

2 主催団体代表打合せ	16:00~16:20	2F「翼の間」
--------------------	--------------------	----------------

[出席予定者] 会長 壁谷(市教育長)
副会長 池田(町村教育長)・彦坂(校長会)・柴田(三教研)
顧問 岩月
庶務 原田(校長会副)・夏目(三教研副)・朝倉(教頭会)
会計 緒方(校長会)・伊東(組合)
会計監査 石川(県教委)
担当者 伊藤(校長会)・山上(校長会)・手島(附属)
[欠席連絡者] 会計監査 今井(県P長) ※懇談会には出席予定

3 三河教育懇談会	17:00~19:00	3F「飛竜の間」
------------------	--------------------	-----------------

(1) 会場設営 15:55~16:30

- 伊丹・榊原・(伊藤)・(山上)
 - ◇ 横看板(ポール有)・座席表作成(伊丹)・出席者席札(ホテルに依頼)
 - ◇ 会場設営状況点検・確認
横看板、屏風、知事用椅子、レクチャーテーブル、水差、おしぼり、マイクの確認

※来賓案内(東岡崎駅) 15:55~16:30

- (県)吉田、深津、加藤 ※中改札前1、誘導1、タクシー乗車場所1

*本年度は全来賓がお車で来場されるので、駅へは行かず、ホテルで待機する。公用車(知事、市長、県教育長の対応をお願いしたい。玄関前で主賓来賓等を降ろされた後に、確保してある駐車場に誘導する。
*知事の公用車の運転手のみ、控え室(2Fさつきの間)へ案内。

(2) 一般受付・案内 16:30~16:50 (3Fロビー)

- 市町村教育長・教育諸団体・~~教育事務所長・県教委(本庁)課長補佐以上、センター部長以上~~

2F「ふじの間(西)」へ案内(23名の方が入室予定。和室なので靴を脱ぐ必要あり)

受付 (三河)原田・加藤・緒方

控室案内 (三河)山本・榊原

- その他一般

3F「飛竜の間」へ案内

受付 (三河)久野・伊丹・安藤 (三教研)夏目

案内 (附属)手島及び校長は3Fロビーで一般会員を案内

(3) 主賓・来賓受付・案内 16:30~16:55 (玄関ロビー)

受付 (三河)立川 (県)山田・石原

◇ 胸章[主賓1ピンク、来賓(5)赤](伊丹)

◇ 主賓・来賓手土産(お茶 ※ホテルに注文)

要項の封筒に手土産を入れ、受付で渡す。

手土産手配-安藤 封筒用意-山上

控え室案内 (三河)尾出 (県)兼子・村越

3F「瑞雲の間」へ案内

※ 大村知事到着 16:50 予定 (未定) (公用車の予定)

(4) 主賓・来賓接待 16:30~16:55 (3F「瑞雲の間」)

○壁谷・池田・彦坂・都築・柴田・(岩月)

・ 秘書、運転手、SP対応 16:30~16:55

○杉本・伊東

- ◇ 知事・岡崎市長・県教育長等に、公用車の駐車場を確保
(ホテルに依頼 3台分 + 会員用地下3台)
- ◇ 秘書と運転手を控え室(2Fさつきの間)へ案内
- ◇ 弁当手配(ホテルへ)4人分(秘書・運転手・SP・知事持ち帰り用)
(秘書・運転手・SPへの手みやげはなし)

(5) 入場案内 ※会場「3F飛龍の間」準備完了予定時刻16:30頃。それまでは入室しない

- ◇ 一般 16:35頃 山上・伊丹…3Fロビーの一般会員へ声掛け
16:40頃 山本・榊原…2Fふじの間の方々へ声掛け、誘導
- ◇ 来賓 16:50頃 壁谷・池田・石川・(今井)…声掛け、誘導
- ◇ 主賓 16:55頃 彦坂・都築・柴田
※原田は司会・朝倉は開会のことば準備

(6) 三河教育懇談会 別紙進行案による。

(7) 主賓(知事)見送り (18:00頃) 壁谷・彦坂・都築・柴田・立川

(8) 来賓見送り (18:50頃) 壁谷・彦坂・都築・柴田・立川

(9) 来賓のタクシー予約・配車(最大3台) 手配:会計 ※宴途中でホテルへ連絡する

(10) 会計(集金および支払い)

○ 緒方・安藤・杉本・伊東

4 会費の納入について

- ◎ 一括納入 各郡市校長会…校長会、三教研分を一括して納入
(3階 会場前) 三河教頭会…教頭会で取りまとめて納入
三河教員組合…三河教員組合で取りまとめて納入
三教研事務局(附属学校)…取りまとめて納入
本庁・教育センター・教育事務所・支所…それぞれで取りまとめて納入
- ◎ 個別集金 市町村教育長 2階 ふじの間前
教育関係諸団体 2階 ふじの間前
PTA連絡協議会 3階 会場前
文部科学省、青少年赤十字出向者 3階 会場前

会場略図

- 1 F
- ・長机 1 5名の来賓受付
→ 受付でキャッチし、3階瑞雲の間に案内
 - ・長机 2 教育長、各種団体案内用
→ ここでキャッチし、2階受付に案内および集金
ふじの間に案内

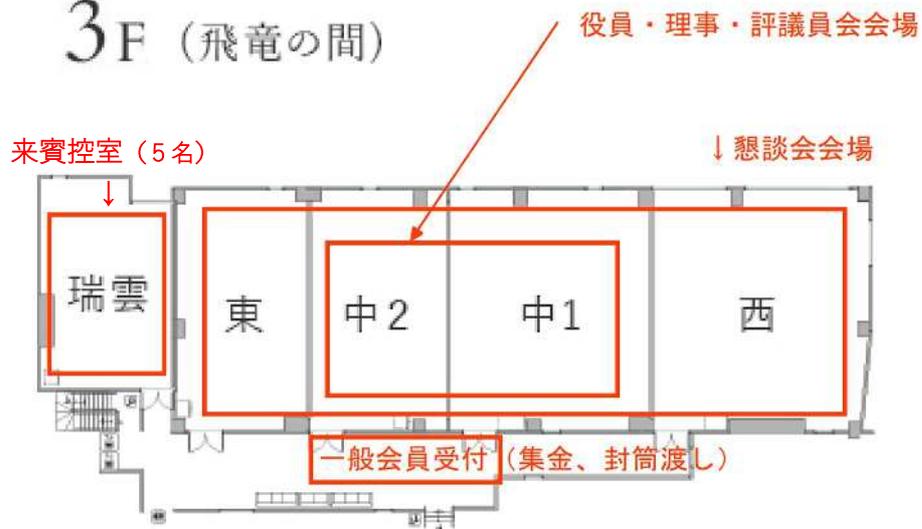
2F

主催者打合せ会場 ↓ 市町教育長、団体控室 (23名) ↓



↑ 知事秘書、運転手、SP 控室 (弁当 4 用意)

3F (飛竜の間)



令和6年度 三河教育懇談会 予算（案）

三河小中学校長会 会計

- 1 日 時 令和6年8月9日（金） 午後5時から
 2 会 場 岡崎ニューグランドホテル 飛竜の間（3階）
 3 内 容

(1) 参加者数 主賓1名、来賓5名、会員259名 合計265名

(2) 収入の部 ※8月9日現在

項 目	金 額	摘 要
会 費	2,072,000	8,000×259
合 計	2,072,000	

(3) 支出の部

項 目	金 額	摘 要
○料理代（和食）	1,325,000	
会員・主賓・来賓全員同じ形式	1,325,000	5,000×265
○飲物代等	600,850	
ビール（中）	540,000	900×600
焼酎（芋・麦）	10,600	5,300×2
ノンアルコールビール	18,750	750×25
ウーロン茶（ピッチャー）	31,500	2,100×15
○コーヒー代	11,550	
来賓控室接待	3,300	550×6
主催団体打合せ	8,250	550×15
○来賓手土産代	12,960	2,160×6
○運転手・秘書・SP弁当代	10,000	2,500×4
○タクシー代	20,000	来賓送迎
○要項代	62,700	209円×300冊
○雑費	28,940	連絡・打合せ等
合 計	2,072,000	

令和6年度 三河教育懇談会 座席表 (敬称略)

令和6年8月9日(金)
17時00分～
岡崎ニューグランドホテル
3階 飛竜の間



司会

<p>金原 宏 刈谷市 石川 良一 安城市 増岡潤一郎 みよし市 安形 博 新城市 岡田 守 東京町</p> <p>2 教育長 10名</p>	<p>山西 正泰 豊橋市 安藤 直哉 岡崎市 山本 浩司 豊田市 大江 孝一 豊川市 伊藤 正徳 田原市</p>	<p>大村 秀章 愛知県知事 飯田 靖 県教委 岡田 豊 教育長職務代理者 高橋 伸至 給食会理事長 壁谷 幹朗 三河教育懇談会会長</p> <p>1 主賓 来賓 10名</p>	<p>中根 康浩 岡崎市長 岩月 慎自 三河教育懇談会顧問 橋本 具征 教育部長 池田 和博 町村教育委員会 稲垣 寿 三河教育懇談会副会長</p>	<p>彦坂登一郎 三河校長会 尾出 知子 三河校長会 原田 憲一 三河校長会 立川 恵理 三河校長会 今井 隆喜 三河PTA会長</p> <p>3 主催団体 10名</p>	<p>都築 孝明 県校長会 柴田 昌一 三河校長会 山田 昌弘 三河校長会 伊東 利典 三河校長会 朝倉 啓全 三河教頭会</p>
<p>石川 真司 教職員課長補佐 吉川 直希 西三所 吉永 昭彦 政務指導室 塩野谷文雄 政務指導室 市川 晋司 教職員主査</p> <p>5 県教委 10名</p>	<p>尾本 国博 義務教育課長 齋藤 慎吾 三河センター 横地 喜之 センター研修部長 三矢 克之 あいちの学び担当課 高井 規行 あいちの学び担当課</p>	<p>平井 克明 県教育振興会 岡本 健二 学校給食会 稲垣 良治 文化振興会 山本 満夫 文化振興会 天野 明典 文化振興会</p> <p>4 教育団体 9名</p>	<p>中野渡善樹 弘済会 波多野慎次 県校長会事務局 久野 友士 退職互助会 夏目 真治 県PTA連事務局</p>	<p>小山 真司 西三課長 横地 公保 西三課長補佐 磯部 昌宏 西三課主査 角谷 諭 西三課主査 村松 睦根 政務指導室主査</p> <p>6 教育事務所 9名</p>	<p>上田 貴之 新設東三課長代理 小林 和弘 東三課長 伊藤 晴江 東三課主査 安藤 雅也 東三課主査</p>
<p>石原 伸一 義務教育指導主事 杉山 雄一 義務教育指導主事 加藤 牧枝 義務教育指導主事 新 育大 義務教育指導主事</p> <p>8 県教委 9名</p>	<p>松山 貴久 義務教育課長 都筑 太 あいちの学び主任 白井 泉 あいちの学び指導主事 木村紘一朗 中高一貫指導主事 河上 雅史 中高一貫指導主事</p>	<p>長谷生かおり 三河PTA副会長 羽谷 拓朗 三河PTA顧問 平井 千夏 三河PTA副会長 中村 賢司 三河PTA副会長 鈴木 則明 三河PTA副会長</p> <p>7 三河PTA 三教研(役員) 10名</p>	<p>坊農由有子 三河PTA会計監査 中神 和也 三教研副会長 夏目 貴司 三教研副会長 遠山 祐幸 三教研副会長 多田 桂 三教研副会長</p>	<p>兼子 明 県副会長 村越 茂樹 県庶務 深津 伸夫 県会計 久野 哲司 三河会計監査 加藤 嘉一 三河会計監査</p> <p>9 県校長会 三河校長会(役員) 10名</p>	<p>石原 清史 県監査 吉田 祐示 県庶務 加藤 正明 県会計 山本 武志 三河副会長 伊藤 孝明 三河庶務</p>
<p>岩脇 芳弘 中高一貫指導主事 大塚 博康 保健体育指導主事 福井 孝徳 保健体育指導主事 平林 加奈 保健体育指導主事 川出 功辞 ICT教育指導主事</p> <p>11 県教委 10名</p>	<p>小林 泰博 中高一貫指導主事 天野万喜男 保健体育指導主事 深谷 健次 保健体育指導主事 成田 敦子 特別支援指導主事 山内 悦子 県民安全指導主事</p>	<p>手島 英樹 幹事 村井 正照 幹事 小林 克久 庶務 河合 貴宝 附属岡崎中</p> <p>10 三教研(役員) 三教研 出向者 9名</p>	<p>大槻 真哉 幹事 稲垣 修一 庶務 川合 陽介 庶務 尾本 聡 国立教育政策推進課 杉浦慎二 日本赤十字青少年保長</p>	<p>榑原ともみ 庶務 緒方 秀充 会計 杉本 春美 会計補佐 山北 淳 教育条件委員 石積 紀尚 進路委員</p> <p>12 三河校長会(役員・理事) 10名</p>	<p>山上 高弘 庶務 伊丹 浩之 庶務補佐 安藤 真樹 会計 大山 貴弘 法制委員 岡本信一郎 学校経営委員</p>
<p>加藤 綾子 センター主査 青木 将司 センター研究主査 今枝 利文 センター研究主査 伊藤 直宏 センター研究主査 都築 克章 三河校長みよし</p> <p>14 センター 三河校長会 10名</p>	<p>杉山 寛仁 センター研究主査 山田 和幹 センター研究主査 林 俊樹 センター研究主査 岡本 祐輔 センター研究主査 佐久間章貴 三河校長みよし</p>	<p>近藤 善紀 岡崎 児玉 洋行 岡崎 小野 隆義 岡崎 鈴木 勝久 岡崎 森 竜師 岡崎</p> <p>13 三河校長会 10名</p>	<p>長谷川勝一 岡崎 牧野 守 岡崎 磯村 彰久 岡崎 岩瀬 竜弥 岡崎 山本 則夫 岡崎</p>	<p>神谷早巳 福祉安全委員 鈴木 常浩 生徒指導委員 加藤 英雄 修学旅行委員 宮本 伸一 広報部長 神戸 勝一 東臨中委員</p> <p>15 三河校長会(理事) 10名</p>	<p>相羽 孝彦 保健体育委員 稲留 雄一 給食委員 伊藤 賢修 特別支援委員 岡 秀之 教育課題副委員 和田 保彦 東臨小副委員</p>
<p>山岸 芳樹 舜南 石橋 涉 舜南 杉浦 広隆 刈谷 都築 智 安城 濱田 孝之 安城</p> <p>17 三河校長会 10名</p>	<p>原田 朋浩 舜南 住田 裕司 刈谷 加藤 祐介 刈谷 三宅 隆之 安城 山本健太郎 安城</p>	<p>伊藤 宏志 豊田 羽根田 修 豊田 佐藤 正一 豊田 小山 幾子 豊田 仲田 英成 豊田</p> <p>16 三河校長会 10名</p>	<p>原田 一弥 豊田 鈴木 康代 豊田 若山 一 豊田 鈴木 賢司 豊田 佐久間政明 豊田</p>	<p>遊谷 礼史 豊橋 清水 政秀 蒲郡 柴田みどり 豊田 吉田 詩朗 新城市 永井 隆 国 勝</p> <p>18 三教研(支部長) 10名</p>	<p>近藤 裕 豊川 小澤 徹 舜南 門脇 博志 高浜 後藤 克史 北設 松永 博司 社会</p>
<p>鈴木 一也 幸田 岩下 英司 幸田 伊藤 美佳 幸田 田中 宏幸 蒲郡 小澤 良充 蒲郡</p> <p>20 三河校長会 9名</p>	<p>中嶋 桂 豊川 小澤 慎一 豊川 星川 敏成 豊川 桑野 立吾 豊川</p>	<p>齋藤 英二 西尾 半田 憲生 西尾 高木 善隆 西尾 淵上 隆博 知立 丹羽真由美 知立</p> <p>19 三河校長会 10名</p>	<p>杉浦 康 西尾 鈴木 健吾 西尾 長谷 栄次 西尾 中井 滋 高浜 三牧 秀和 高浜</p>	<p>加藤 環 生活技術家庭 多田 敦 特別活動 富田 好己 総合 吉本 敦 総合 板倉 真介 生徒指導</p> <p>21 三教研(部会長) 10名</p>	<p>石田 則一 保健体育 羽生あゆみ 道徳 鐘ヶ江辰彦 養護教諭 今本 政勝 図書館 藤田 定 へき地</p>
<p>鈴木 宏卓 豊橋 中村三木也 豊橋 河合 厚志 豊橋 中村 招弘 豊橋 柴田 和幸 三教組副会長</p> <p>23 三河校長会 教員組合 10名</p>	<p>梅原 康史 豊橋 原田 直美 豊橋 吉田 明弘 豊橋 鈴木 孝昌 豊橋 佐藤 勝利 愛教組委員長</p>	<p>木田 剛 田原 古越 俊光 田原 近藤 智彦 田原 倉知 雅美 教頭会副会長 橋本 宰 教頭会研修係</p> <p>22 三河校長会 三河教頭会 10名</p>	<p>伊藤 悦子 田原 神谷 勝則 新城市 金田 季也 北設 鈴木 善博 教頭会副会長 伴 卓朗 教頭会庶務</p>	<p>渡邊 徹 会計 八田 忠勝 会計監査 市川 岸江 岡崎 塚本 茂博 刈谷 河合 哲也 刈谷</p> <p>24 三河教頭会 10名</p>	<p>藤井 克枝 会計 甲斐 由美 会計監査 加藤 洋充 豊川 榑原 純子 舜南 村田 幸子 豊川</p>
<p>竹中 証一 三教組 杉浦 弘幸 三教組 近藤 光明 三教組 長坂 晃裕 三教組 高森 彦輝 三教組</p> <p>26 教員組合 10名</p>	<p>志賀 一友 三教組 外山 賢一 三教組 西村 吉亮 三教組 稲吉 崇史 三教組 後藤 良浩 三教組</p>	<p>鈴木 良則 愛教組 寺田 光裕 愛教組 富田 直孝 愛教組 藤田理映子 愛教組 杉浦 卓 愛教組</p> <p>25 教員組合 10名</p>	<p>小本曾正章 愛教組 横見 智之 愛教組 伊藤 敦哉 愛教組 伊藤 将生 愛教組 寺島 剛敏 愛教組</p>	<p>青木久美子 豊田 清水 一 豊田 伊奈 紀幸 西尾 黒田 信弘 幸田 近藤 和義 北設</p> <p>27 三河教頭会 10名</p>	<p>堀 直博 豊田 岩田 一郎 安城 山本 俊輔 みよし 浅野 由佳 豊橋 廣中 晃夫 田原</p>

入り口

入り口

入り口

令和6年8月9日

三河教育懇談会 関係者 様

三河教育懇談会事務局

「令和6年度 三河教育懇談会」の反省について（依頼）

三河教育懇談会には多大な御支援をいただき、厚く御礼申し上げます。

つきましては、来年度も一層意義深い行事として開催するために、お気づきの点がありましたら、下記によりお知らせください。来年度の会に向けて検討させていただきたいと思っておりますので、御協力くださいますようお願いいたします。

記

- 1 内 容 別紙様式によるメールにて提出
- 2 報告期日 令和6年8月22日（木）
- 3 報告先 三河小中学校長会庶務 榊原ともみ
新城市立千郷中学校
メールアドレス：sakakibara-tomomi@city.shinshiro.ed.jp
※メールは項目及び内容が分かれば結構です。

（問い合わせ先：新城市立千郷中学校 榊原ともみ 電話 0536-22-0362）

<別紙>

三河教育懇談会反省記録

新城市立千郷中学校 榊原 ともみ 行

★メールアドレス：sakakibara-tomomi@city.shinshiro.ed.jp

※メールは項目及び内容が分かれば結構です。

★箇条書きで結構です。端的にお願いします。

★提出期限：令和6年8月22日（木）

記入者氏名 []

開催時期 時間帯	
会場	
参加者 案内	
講話	
懇親会	
その他 全体	

(案)

令和6年8月9日

愛知県へき地教育研究協議会
会長 彦坂 登一郎 様

三河小中学校長会長
彦坂 登一郎

後援名義の使用について

令和6年6月26日付けで申請のあった後援名義の使用については、下記のとおりこれを許可します。

記

- 1 後援名義 愛知県へき地教育研究協議会
- 2 事業名 第62回愛知県へき地・複式・小規模学校教育研究大会
- 3 期 日 令和6年11月1日（金）
- 4 会 場 設楽町立津具小学校

以上

別紙様式

令和6年6月26日

三河小中学校長会
会長 彦坂 登一朗 様

愛知県へき地教育研究協議会
会長 彦坂 登一朗

後援名義使用申請書

下記の事業について、三河小中学校長会名の後援名義使用を許可いただきたく申請いたします。

記

事業名	第62回愛知県へき地・複式・小規模学校教育研究大会
目的	全国へき地教育研究連盟の研究と連携し、今年度は、「主体的・協働的に学び、ふるさとへの誇りと愛着をもった人間性豊かな子どもの育成」を研究主題とする愛知県へき地教育研究協議会の第X次研究推進5か年計画の初年度である。愛知県へき地教育研究協議会は、この研究テーマについての周知と研究内容等についての理解を深めるとともに、設楽町立津具小学校の授業や研究推進状況報告を参観しながら、へき地・複式・小規模学校の特性を生かした教育活動の取組を学び合い、研究実践の充実・深化を図ることを目的としている。
期日	令和6年11月1日（金）
会場	設楽町立津具小学校
共催	なし
対象	愛知県内の県へき研会員校を中心とする教職員 約100人
他の後援機関・団体	愛知県教育委員会 愛知県小中学校長会 設楽町教育委員会 東栄町教育委員会 豊根村教育委員会 尾張小中学校長会 尾張教育研究会 三河教育研究会 愛知県教育振興会 愛知教育文化振興会 日本教育公務員弘済会愛知支部 教職員共済生活協同組合愛知県事業所
その他、参考になる事項	・愛知県へき地教育研究協議会会則 別紙 ・愛知県へき地教育研究協議会役員 別紙 ・第62回愛知県へき地・複式・小規模学校教育研究大会開催案内(案) 別紙

愛知県へき地教育研究協議会 会則

(名称及び事務局)

第1条 この会は、愛知県へき地教育研究協議会と称し、事務局を事務局長在任校に置く。

(目的)

第2条 この会は、県内各地区におけるへき地教育研究団体の活動を促進し、関係機関・団体との連携を密にして、へき地・小規模・複式学級を有する学校の特性を生かした研究を進め、へき地教育の振興と充実を図ることを目的とする。

(事業)

第3条 この会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- 1 研究・調査に関すること
- 2 研究資料及び情報等の収集・交換ならびに刊行に関すること
- 3 教育諸条件の整備・充実に関すること
- 4 教職員の研修に関すること
- 5 教育関係機関及び団体との連絡提携に関すること
- 6 その他必要な事項

(組織)

第4条 この会は、次の学校及び教職員をもって組織する。

- 1 県内のへき地に指定されている小学校・中学校及びそこに勤務する教職員
- 2 県内の複式学級を有する小学校・中学校及びそこに勤務する教職員
- 3 この会の趣旨に賛同する小学校・中学校及び教職員

(役員)

第5条 この会に次の役員を置く。

- | | | | |
|--------|----|----------------|----|
| 1 会長 | 1名 | 2 副会長 | 2名 |
| 3 事務局長 | 1名 | 4 事務局次長(庶務・会計) | 2名 |
| 5 会計監査 | 2名 | | |

ただし、東海北陸地区へき地・複式・小規模学校教育研究大会・全国へき地教育研究大会等の開催県となったときは、大会年度及びその前年度に役員の増員をすることができる。

(役員を選出ならびに任期)

第6条 役員を選出方法及び任期は、次の通りとする。

- 1 会長・副会長・会計監査は、理事会で選出し、総会で承認を得る。
- 2 事務局長・事務局次長(庶務・会計)は、理事の中から会長が委嘱する。
- 3 理事は、各地区ごとに選出し、人員は別に定める規定による。
- 4 役員任期は1か年とする。ただし再任をさまたげない。欠員を生じたときは、後任者は残任期間とする。

(役員の仕事)

第7条 役員の仕事は、次の通りとする。

- 1 会長は会を代表し、会務を総理する。
- 2 副会長は会長を補佐し、会長事故あるときは代理する。
- 3 事務局長は会長の命をうけて会務を掌理する。
- 4 事務局次長(庶務・会計)は事務局長を補佐し、庶務・会計を処理する。
- 5 理事は理事会を構成し、会務を処理する。
- 6 会計監査は会計を監査する。

(顧問ならびに参加)

第8条 この会に顧問ならびに参加を置くことができる。顧問ならびに参加は、理事会において推薦し、会長が委嘱する。

(会議)

第9条 この会の会議は、次の通りとする。

- 1 総会 総会は年1回開く。なお必要に応じて臨時に開くことができる。
 - (1) 会則の改廃
 - (2) 事業ならびに決算の承認
 - (3) 事業計画ならびに予算の審議決定
 - (4) 役員承認
 - (5) その他の重要事項
- 2 理事会 理事会は必要に応じて会長が招集し、次のことを行う。
 - (1) 総会の決定ならびに委任事項の処理
 - (2) 細則等の改廃
 - (3) 当面する問題事項の処理
 - (4) その他会務執行に必要な事項
- 3 正・副会長会は、必要に応じて会長が招集し、会務執行の基本事項について協議する。
- 4 事務局各部会は、必要に応じて会長が招集し、会務執行に当たる。
- 5 会議はすべて構成員の過半数で成立し、議事は出席者の多数決による。
- 6 総会の議長は、その都度構成員の互選とし、その他の会議は会長が議長となる。ただし、事務局各部会は部長が議長となる。

(運営)

第10条 この会の事務局に次の各部を置き、運営の適正をはかる。

- 1 総務部
- 2 研究部
- 3 広報部

理事は上記3部をそれぞれ分担する。事務局の運営に関する規定は別に定める。

(会 計)

第11条 この会の経費は、会費（学校会費・個人会費）・助成金・寄付金・その他の収入をもってこれに充てる。

(会計年度)

第12条 この会の会計年度は4月1日にはじまり、翌年3月31日に終わる。

(会則の改正)

第13条 この会の会則改正は總會において行う。

(細則等の制定)

第14条 この会の運営上必要な細則・規定は理事会において定める。

(附 則)

第15条 この会則は、昭和55年5月28日から実施する。

- ・ 本会則の第5条を改正し、平成8年5月24日から実施する。
- ・ 本会則の第2条、第3条、第4条を改正し、平成13年5月25日から実施する。
- ・ 本会則の第10条を改正し、平成18年5月16日から実施する。
- ・ 本会則の第5条の大会名を変更し、平成30年5月18日から実施する。
- ・ 本会則の第5条の役員副会長3名を改正し、令和3年4月1日から実施する。

会則にかかわる細則

1 会則第11条における会費は次の通りとする。

・ 学校会費 1校 3,000円

第4条1号会員

1人〔4月の（給料＋へき地手当）〕×一定率

ただし、10円未満は四捨五入して徴収する

校長及び教頭は全国へき地教育連盟管理職負担金（校

長700円、教頭300円）を加算する

第4条2・3号会員

1人 500円

ただし、指定学校については、第4条2・3号会員に準ずるものとする。

2 この細則は、平成11年2月26日に改正し、平成11年4月1日から実施する。

- ・ 平成13年2月23日に改正し、平成13年4月1日から実施する。
- ・ 平成14年2月22日に改正し、平成14年4月1日から実施する。
- ・ 平成15年2月28日に改正し、平成15年4月1日から実施する。
- ・ 平成20年2月15日に改正し、平成20年4月1日から実施する。
- ・ 平成22年2月10日に改正し、平成22年4月1日から実施する。
- ・ 平成24年2月10日に改正し、平成24年4月1日から実施する。

令和6年度

愛知県八ヶ地教育研究協議会 役員

1 会長・副会長・会計監査

役職名	氏名	地区	勤務校	電話番号	Fax番号	備考
会長	彦坂登一郎	田原	田原市立田原中部小学校	0531-22-1245	0531-22-1246	
副会長	江端義嗣	豊田	豊田市立明和小学校	0565-67-2250	0565-67-2269	総務部担当
	原田基寛	設楽	豊根村立豊根中学校	0536-85-1344	0536-85-1345	研究部担当
会計監査	林重彦	新東	新城市立鳳来東小学校	0536-33-0336	0536-33-0845	
	渡部一夫	尾張	南知多町立日間賀小学校	0569-68-2204	0569-68-2588	

2 事務局

役職名	氏名	地区	勤務校	電話番号	Fax番号	備考
事務局長	金田季也	設楽	設楽町立名倉小学校	0536-65-0004	0536-65-0359	
次長	山本昭彦	豊田	豊田市立御蔵小学校	0565-64-2001	0565-64-2810	庶務
次長	林京一	新東	田原市立若戸小学校	0531-45-2008	0531-45-3961	会計

3 理事（〇印 郡市代表理事）

地区名	氏名	勤務校	電話番号	Fax番号	備考
設楽	金田季也	設楽町立名倉小学校	0536-65-0004	0536-65-0359	事務局長
	村松敦雄	設楽町立清嶺小学校	0536-62-0704	0536-62-0749	総務部長
	〇杉野文隆	豊根村立豊根小学校	0536-85-1339	0536-85-1330	研究副部長
豊田	山本昭彦	豊田市立御蔵小学校	0565-64-2001	0565-64-2810	事務局次長
	藤田定	豊田市立稲武小学校	0565-82-3535	0565-82-2765	研究部長
	朱山純子	豊田市立巴ヶ丘小学校	0565-91-1717	0565-91-1718	総務副部長
	〇中島弘嗣	豊田市立小渡小学校	0565-68-2326	0565-68-2327	代表理事

地区名	氏名	勤務校	電話番号	Fax番号	備考
新城 東三	林 京一	田原市立若戸小学校	0531-45-2008	0531-45-3961	事務局次長
	○ 夏目久代	新城市立黄柳川小学校	0536-34-0206	0536-34-0900	広報部長
西三	○ 鈴木紀予子	岡崎市立下山小学校	0564-84-2204	0564-84-2209	代表理事
尾張	○ 富田 崇	南知多町立篠島中学校	0569-67-2046	0569-67-2318	広報副部長

4 各部担当理事（◎印 部長、○印 副部長）

部名	氏名	地区	勤務校	電話番号	Fax番号	備考
総務	◎ 村松敦雄	設楽	設楽町立清籟小学校	0536-62-0704	0536-62-0749	
	○ 朱山純子	豊田	豊田市立巴ヶ丘小学校	0565-91-1717	0565-91-1718	
	中島弘嗣	豊田	豊田市立小渡小学校	0565-68-2326	0565-68-2327	代表理事
研究	◎ 藤田 定	豊田	豊田市立稲武小学校	0565-82-3535	0565-82-2765	
	○ 杉野文隆	設楽	豊根村立豊根小学校	0536-85-1339	0536-85-1330	代表理事
広報	◎ 夏目久代	新東	新城市立黄柳川小学校	0536-34-0206	0536-34-0900	代表理事
	○ 富田 崇	尾張	南知多町立篠島中学校	0569-67-2046	0569-67-2318	代表理事
	鈴木紀予子	西三	岡崎市立下山小学校	0564-84-2204	0564-84-2209	代表理事

5 各部委員

部 名	氏 名	勤 務 校		電話番号	Fax番号	備考
総 務	大竹 正美	豊田	豊田市立敷島小学校	0565-68-2702	0565-68-2193	
	石田 浩三	設楽	東栄町立東栄中学校	0536-76-0071	0536-76-0917	
	山田ゆかり	新東	田原市立中山小学校	0531-32-0004	0531-32-0029	
	松崎 美香	西三	佐久島しおさい学校	0563-79-1014	0563-79-1471	
	中山 一樹	尾張	南知多町立篠島中学校	0569-67-2046	0569-67-2318	
研 究	黒田 涉	豊田	豊田市立本城小学校	0565-65-2022	0565-65-3693	
	伊藤 英治	設楽	豊根村立豊根小学校	0536-85-1339	0536-85-1330	
	二継 美香	設楽	設楽町立名倉小学校	0536-65-0004	0536-65-0359	
	松本 和也	新東	新城市立鳳来寺小学校	0536-35-1011	0536-35-0086	
広 報	加藤 由香	豊田	豊田市立大蔵小学校	0565-64-2002	0565-64-2708	
	佐々木栄治	設楽	設楽町立設楽中学校	0536-63-0123	0536-62-2200	
	鷓 飼 毅	新東	田原市立伊良湖岬小学校	0531-38-0200	0531-38-0210	
	上原ひろみ	西三	岡崎市立宮崎小学校	0564-83-2260	0564-83-2270	
	大岩 裕和	尾張	南知多町立日間賀小学校	0569-68-2204	0569-68-2588	

令和6年度 各会合の研修内容

令和6年8月9日現在

月 日 (曜日)	時刻	会 合 名	研 修 内 容
4月10日(水) ライフポートとよはし (0532-33-2113)	11:00 13:30 15:00 15:15 15:15	仮役員・理事会 郡市代表者会・評議員会 専門委員会・部会全体会 専門委員会・部会 郡市会計担当者会	研修資料配付 令和5年度 学校力向上特別委員会報告
4月23日(火) 岡崎市竜美丘会館 302 (0564-24-3951)	15:30	仮役員会	研修資料配付 令和5年度 学校力向上特別委員会報告
5月 8日(水) 岡崎市竜美丘会館 (0564-24-3951)	12:00 14:30	総会準備会 三河校長会総会・教育講演会	教育講演会 「出会いに、感謝」 講師：県教育委員会 委員 渡曾 秀子 様
6月10日(月) 三河教育会館 オンライン開催	13:30 15:00	役員・理事会、常任委員会 校長研修会	経営報告①「学級運営・現職研修・教職員評価の一体的推進」 報告者：田原市立田原中部小学校 彦坂登一朗 校長 経営報告②「ちよっとChallenge!～3つのプロジェクト～」 報告者：豊橋市立中部中学校 原田 憲一 校長
8月 9日(金) 岡崎ニューグランドホテル (0564-21-5111)	14:00 16:00 17:00	役員・理事会、評議員会 主催団体打合せ 三河教育懇談会 (知事教育講演会)	教育講演会 講師：愛知県知事 大村 秀章 様
10月 7日(月) 岡崎市竜美丘会館 301 号室 (0564-24-3951)	13:30 15:00	役員・理事会、郡市代表者会 校長研修会	講話① (仮題：校長の哲学) 講師：早稲田大学 教授 藤井 千春 様
11月 8日(金) 岡崎市竜美丘会館 301 号室 (0564-24-3951)	13:30 15:00	役員・理事会、郡市代表者会 校長研修会	講話② (仮題：求める校長像) 講師：蒲郡市教育委員会 教育長 壁谷 幹朗 様
1月10日(金) 三河教育会館 オンライン開催	14:00 15:30	役員・理事会、常任委員会 校長研修会	調査研究報告① 令和6年度 各委員会、部会より
1月28日(火) 岡崎ニューグランドホテル (0564-21-5111)	15:00 16:00	役員・理事会、評議員会 校長研修会	調査研究報告② 令和6年度 各委員会、部会より
2月28日(金) 岡崎市竜美丘会館 301 号室 (0564-21-5111)	15:00 16:00	役員・理事会、常任委員会 校長研修会	調査研究報告③ 令和6年度 学校力向上特別委員会報告

※ 研修の司会は、庶務補佐が担当する。

令和6年8月9日

三河小中学校長会
郡市代表者 様

三河小中学校長会長
彦坂 登一郎

令和7年度 郡市別学校数調査について(依頼)

このことにつきまして、御回答くださるようお願いいたします。

記

1 依頼内容 令和7年度の学校数調査について

2 回答方法 別紙によるメール送信
(送信先)

蒲郡市立蒲郡中学校 伊藤 孝明

電子メール takaakiito03321@outlook.jp

3 回答期限 令和6年9月6日(金)

担 当 蒲郡市立蒲郡中学校 伊藤 孝明
電 話 0533-68-6166
電子メール takaakiito03321@outlook.jp

令和7年度 郡市別学校数調査について

郡市名【 】 発信者名【 】

	小学校数	中学校数	小・中学校 合 計	学校数の増減 (下の1～7に ○を付けてください。)
令和6年度 当初	校	校	校	1 変動なし 2 市町村合併により増加 3 市町村合併によって減少 4 学校新設 5 学校統合 6 学校廃止 7 その他
令和7年度 当初	校	校	校	

- ・ 貴郡市の令和7年度の学校数等について、9月6日（金）までにメールにてご回答ください。
- ・ 報告後の変動については、分かり次第ご連絡ください。

令和7年度 教育研究団体大会助成要項

1 趣 旨

愛知県の公立幼小中高等学校の教育振興に資するため、教育団体及び教育研究団体が主催する研究大会に助成を行い教職員や保護者の研究・研修活動を支援することにより、幼児・児童・生徒の健全育成に寄与する。

2 対 象

全県あるいは名古屋・尾張・三河の各地域にわたる公立幼小中高等学校の教職員や保護者で構成され、教育研究活動や教育振興活動を中立的に行う教育団体及び教育研究団体が主催する東海北陸地区規模以上の研究大会で、**県・市町村教育委員会や、校長会等の後援などがあること。**

3 申請手続

助成金の交付を希望する団体は、令和7年3月3日（月）から3月17日（月）までの期間に次の書類を本会理事長あてに提出する。

- (1) 申請書（別紙様式）
- (2) 事業計画書（大会要項等）
- (3) 収支予算書（大会に要する費用が確認できるもの）

4 審 査

学識経験者や教育関係者等で構成する教育助成選考委員会を設置し、助成の可否・助成額を決定する。審査に当たっては、大会の公益性、運営の確実性、研究・研修成果の活用及び教育活動・研究活動の中立性などを総合的に審査する。

5 助成金の交付

助成金の交付は、予算の範囲内とする。

6 報告書等の提出

助成金の交付を受けた団体は、大会終了後3か月以内に次の書類等を本会理事長あてに提出し、事業報告をする。

- (1) 事業報告書（大会要項、大会報告、研究集録・研究紀要等）
- (2) 収支報告書

令和7年度 全国・東海北陸規模の研究大会 開催予定について

発信者	(郡市名)
(氏名)	

このことについて、愛知県教育振興会から調査依頼がありました。

つきましては、下記の必要事項を記入して御報告ください。

大会名	主催団体等				実施日等		
	団体名				実施日		
	代表者	職名				会場	
		氏名					
	事務局	連絡先	名称 又は、 学校名			参加人数	
担当者							

大会名	主催団体等				実施日等		
	団体名				実施日		
	代表者	職名				会場	
		氏名					
	事務局	連絡先	名称 又は、 学校名			参加人数	
担当者							

大会名	主催団体等				実施日等		
	団体名				実施日		
	代表者	職名				会場	
		氏名					
	事務局	連絡先	名称 又は、 学校名			参加人数	
担当者							

※10月18日(金)までに、メールにて御報告ください。

担 当 蒲郡市立蒲郡中学校 伊藤 孝明

電 話 0533-68-6166

Email takaakiito03321@outlook.jp

第 64 回東海北陸中学校長会研究協議会 福井大会

1 期 日

令和6年7月4日(木)・5日(金)

2 会 場

福井県 フェニックス・プラザ

3 研究主題

「新たな時代を切り拓き、よりよい社会を形成していく日本人を育てる中学校教育」

4 日 程

(1) 7月4日(木)の全日程

	11:00	12:00	13:00	13:30	16:30	18:00	20:00
4日 (木)	理事会	分科会 打合せ会	受付	分科会			レセプション

(2) 7月5日(金)の全日程

	9:00	9:30	10:30	12:00	12:20
5日 (金)	受付	全体会 I	記念講演	全体会 II	

(3) 7月4日(木)の日程

理事会 11:00~12:00	分科会打合せ 12:00~13:15	分科会 13:30~16:30
フェニックスプラザ301号室	各分科会会場	各分科会会場
<ul style="list-style-type: none"> ○開催県会長挨拶 ○R5年度会務・会計報告 ○R6年度事業計画・予算 ○大会宣言・決議文 ○福井大会概要説明 ○次年度開催県より ・岐阜県(基本構想等) 	<ul style="list-style-type: none"> ※昼食 ○挨拶 ○分科会の流れ確認 ・運営責任者、会場責任者、 司会者、発表者の打合せ 	<ul style="list-style-type: none"> ○開会の言葉 ○研究協議 ・口頭発表 ・研究協議 ・まとめ ○閉会の言葉

5 研究協議会

【第7分科会】「令和の日本型学校教育」を担う教師の育成

- ① 研究協議1「教育委員会が主管する委員会への参画や行政が運営主体となっている事業への関わりを通じた教師育成の在り方」(発表:愛知県高浜市立南中学校長 清水美智男)
- 高浜市の「高浜市教育基本構想」に沿った教育行政と学校運営の計画的な執行を紹介する形で発表がなされた。市が主催する委員会に選出された教員が参加し、これからの高浜市の教育の一翼を担うのだという自覚と責任を感じながら取り組んでいるとのことであった。グループ協議では、教員の意識改革を進めることや地域の支援(コミュニティスクールとの連携)を活かしながら働き方

改革を進めること、若手の自主性を伸ばす取り組みについて話し合いを行った。

② 研究協議2「研修の在り方及び教師の学びの環境づくりにおける校長の果たすべき役割について」(発表:富山県富山市岩瀬中学校 山田智子)

富山県では、生徒や保護者、地域の信頼に応えられる教師の育成と「新たな教師の学びの姿」を実現する研修の在り方として、若手が研修を企画する「プロジェクト委員会」の取組、専門家を招いて授業研究を行う取組、グループウェア」の活用による個別最適な教師の学びの創出への校長の役割が紹介された。グループ協議では、校長の役割として研修時間を生み出すことや自主的な研修が進むように主体性を重んじながら進めることの話合いが行われた。

第7分科会の総括として、校長は「①学びのコミュニティを学校内外で創出してこと」「②自らを問い直し、実践を捉え直す営みを大切にすること」とまとめられた。

6 記念講演「チームマネジメント ～自走力UPの極意～」

講師 書家・プレゼンテーションクリエイター 前田 謙利 氏

先の見えない時代にあっ
て、コミュニケーションのバ
ージョンアップを図り、自走
力をUPしていくことをうたえ
ておられた。中でも管理す
るという言葉を「最高のパ
フォーマンスが発揮できる
状態」と考え、校長はいか
に職員のパフォーマンスを
発揮させるかという状態を



管理するという言葉が印象に残った。校長がすべき状態管理の中で、職員のモチベーションを上げ
ることを大切にしなければならないが、その時に重要になってくるのが丁寧なコミュニケーションである
と話された。そして、やる気を出させる3つのポイントとして、自立性「こんなことに気づいてやってくれた
のか」、有能性「素晴らしい考え方だね」、関係性「他の関連もうまくいきそうだ」と言葉を添えながら
話していくことを強調された。校長が少しの時間で対話を一人一人と行い、職員の話しを傾聴し対
話をしていくことが多くの課題を克服していくのに有効であることを、データを基にしながら講話いただ
いた。また、対話をしていくときに、関係の質「お互いを知る」、思考の質「ポジティブ思考」、行動の
質「自走する」、結果の質「高い成果」の順にしていくことや、以前に前田氏が務めていた Softbank
社長の孫氏の話を出し、難しい課題が出た時に、管理職はその場において、部下が行うことに対して
どうするのか尋ねながら「任したよ」と部下を信頼して落ち着いて見守ることを一番にしていたことを話
された。リーダーとは、情報と仕事を配る人ではなく、意味と希望を伝える人であると言われ、校長と
して経営のビジョンをしっかりと話していくことが求められると教示いただいた。最後に、念(おも)いとい
う言葉を「絶えず抱く強い気持ち」ということであるとし、参会者には経営に対して強い気持ちをもって取
り組んでほしいとエールをいただいた。

(写)

令和6年6月14日

各地域校長会長 様

愛知県小中学校長会

会長 都築 孝明

令和7年度 合同研修会講師の推薦について (依頼)

令和6年度合同研修会の開催に際しましては、格別のご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

令和7年度合同研修会につきましては、令和7年5月19日(月)、会場は本年度と同じく、Niterra 日本特殊陶業市民会館で開催を予定しております。

つきましては、令和7年度合同研修会講師の選定に入りたいと存じますので、各地域で3～5名程ご推薦くださいますようお願いいたします。

なお講師について、会場からの制約はありませんので、幅広い分野からのご推薦をお願いいたします。また講師に関する資料等がありましたら、同封・添付してください。

※ 別紙推薦書を9月9日(月)までに、主任庶務理事の村越までお送りください。

[連絡・送り先] 高浜市立翼小学校 村越 茂樹
〒444-1305 高浜市神明町5-1-1
電話：0566-54-2831
FAX：0566-54-2832
メール：s-murakoshi@city.takahama.aichi.jp

〈参 考〉

愛知県・名古屋市小中学校長会 合同研修会の講師一覧
 (愛知県小中学校長会 教育講演会の講師を含む)

年・月・日	演 題	講 師	自 市
	＜愛知県小中学校長会 教育講演会＞		
S60.5.2	「集団遺伝学の研究と世界観」	国立遺伝学研究所集団遺伝研究主幹	木村 資生
S61.5.24	「教育改革を考える」	名古屋大学総長	飯島 宗一
S62.5.2	「尾張藩と徳川美術館」	徳川美術館長	徳川 義宣
S63.5.28	「国際化時代 日本人と小中学校教育」	ウエスタンミシガン大学教授	小沢 昭弥
H1.5.27	「高度情報化時代をどう生きぬく」	NHK理事	尾畑 雅美
H2.5.19	「経営と人材育成」	トヨタ車体KK相談役	藤本 俊
H3.5.18	「世界の中の日本経済」	日立総合研究所長	守屋 友一
H4.5.16	「中部経済の現状と将来」	名古屋商業会議所会頭	加藤 隆一
H5.5.21	「生涯学習と小中学校」	文部省生涯学習審議委員会委員 名古屋大学教授	森島 昭夫
H6.5.20	「激動する内外情勢と21世紀への課題」	ジャーナリスト	勝部 領樹
H7.5.17	「地球環境－アリの眼からグローバルな視点へ」	名古屋市科学館長	樋口 敬二
H8.5.14	「初等中等教育の現状と課題」	文部大臣官房審議官	富岡 賢治
H9.5.14	「今 なぜ右脳教育が大切か」	浜松医療センター副院長	金子 満雄
H10.5.13	「校長先生に贈るインテルメッツオ」	声楽家	池田 京子
H11.5.12	「心で観る音」	能楽笛方藤田流家元	藤田六郎兵衛
H12.5.12	「花いっときのお話」	音楽家	森 ミドリ
H13.5.16	「ここへおいで」	シンガーソングライター	梅原 司平
H14.5.10	「心に響く和太鼓」	邦楽集団「志多ら」代表	牛丸 哲朗
H15.5.14	「文明の対話－異なる文化の理解」	中部高等学術研究所副所長	藤井 知昭
H16.5.14	「中国文化への誘い－中国琵琶の調べ」	中国琵琶奏者	宗 亭亭

H17.5.11	「バリ島との音の架け橋“ジェゴグ”」 スカル・サクラ団長 名古屋音楽大学教授 栗原 幸江
H18.5.12	「舞踏と哲学—自己開発を続ける芸術の旅人」 フラメンコ舞踏団主宰 依田由利子
H19.5.11	「手仕事屋さち兵衛歌語り—私と子育て」 木彫家 シンガーソングライター エッセイスト 手仕事屋さち兵衛
H20.5.14	「新学習指導要領について」 文科省初等中等教育局教育課程課長 高橋 道和
H21.5.15	「きょうは、未来を考える日に。」 映画作家 大林 宣彦
H22.5.12	「発達期に出逢ってほしい歌」 作曲家 青島 広志 ・ 共演者 小野 勉
H23.5.11	「明るく、楽しく、あきらめない—息子 伸行と歩んだ20年間」 辻井いつ子
H24.5.15	「夢はかなう きっとかなう」 横浜ブリキのおもちゃ博物館長 北原 照久
H25.5.14	「一流という生き方～輝ける人との出会いの中で～」 作家 小松 成美
H26.5.16	「Respect Each Other」 東北楽天ゴールデンイーグルス社長 立花 陽三
H27.5.15	「人のこころのつかみ方」～吉本で学んだ人材活性術～ 人材活性プロデューサー 大谷由里子
H28.5.17	「宇宙生命は存在するか？」～天文学からのアプローチ～ 国立天文台副台長 渡部 潤一
H29.5.22	<愛知県・名古屋市小中学校長会 合同研修会> 「感性のアンテナを立てて 情（なさけ）に報いる時代を生きる」 ～心を揺るがす いい出逢い・いい話～ みやざき中央新聞編集長 水谷もりひと
H30.5.22	「青山学院大学を箱根駅伝4連覇に導いた言葉」 ～子どもの成長のために今できること～ 青山学院大学陸上競技部 長距離ブロック監督 原 晋
R1.5.15	「人工知能がもたらす人間と社会の未来」 国立情報学研究所教授 新井 紀子
R2.5.18	「脳からみた学習とやる気」 東京大学薬学部教授 池谷 裕二（中止）
R3.5.17	「困っている子どもたちの背景と具体的支援」 立命館大学教授・児童精神科医(一社)日本COG-TR学会代表理事 宮口 幸治(中止)
R4.5.16	「困っている子どもたちの背景と具体的支援」 立命館大学教授・児童精神科医(一社)日本COG-TR学会代表理事 宮口 幸治
R5.5.15	「脳からみた学習と成長」 東京大学薬学部教授 池谷 裕二
R6.5.20	「未来を創る思考と行動」 福岡ソフトバンクホークス元監督 工藤 公康

令和6年7月31日

調査依頼小学校長 様

全国連合小学校長会長 植村 洋司
同 調査 研究 部長 佐藤 友信
同人権教育委員会委員長 大須賀慎一

人権教育委員会の調査の実施について（依頼）

校務ご多用の折り、今年度の本会の調査にご協力いただき、誠にありがとうございます。

つきましては、以下の要領に従ってご回答くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

1 目 的

人権教育における「学校としての組織的な取組と関係機関等との連携等に関する課題」について調査・分析を行い、その成果を各学校や各都道府県校長会における人権教育の充実、推進のため、本調査を実施する。

2 内 容

調査 「学校としての組織的な取組と関係機関等との連携等に関する課題」

3 対 象 各都道府県小学校数の4%

・三河に依頼された調査協力校数は13です。
・小学校数の少ない3郡市（高浜、幸田、北設楽）を除く、13郡市をお願いします。
・各郡市1校、アンケートにご協力ください。
・本日の評議員会に参加されている校長先生にご協力いただけると幸いです。

4 回答期限 令和6年8月28日（水）

5 回答方法 WEBアンケート

※詳しい回答方法は裏面をご確認願います。

【問い合わせ先】

東京都江戸川区立松江小学校 大須賀慎一

電話 03-3652-7146

FAX 03-5662-2965

- アンケートの回答は、下記の URL を、PC ブラウザに直接入力もしくは、QR コードをタブレット・スマートフォンで読み込み、アクセスしてください。



調 査 票 へ の ア ク セ ス

<https://survey.zohopublic.jp/zs/dXEA0k>

- 回答上の注意

- ・令和6年8月28日（水）までにご回答願います。
- ・回答は、ひとりにつき1回となります。
- ・同一デバイス（PC、スマートフォンなど）からは、1台につき、1人しか回答ができないようになっております（同一デバイスから別の方が回答した場合、最初の回答が上書きされます。）
- ・画面下の「次へ」「完了」ボタンを押すと、回答はサーバーに保存されます。「次へ」ボタンを押していただければ、一旦中断ができるようになっています。なお、回答完了後も修正は可能です。（本機能が正しく動作するためには、回答ブラウザでCookieが有効に設定されている必要があります。回答を完了するたびにCookieを削除している場合は、回答は保存されません。）

※この調査は調査目的のみに使用し、回答はすべて統計的に処理され、回答者個人についての情報が他の目的で使われることや、個人が特定されることは決してありません。

※個別のご回答内容が外部に公開されることは一切ありません。

※本調査は、厳重な個人情報管理のもと、回収及び集計を、調査受託機関である株式会社リベルタス・コンサルティング（Pマーク取得事業者 取得番号10822382(09)）が行います。株式会社リベルタス・コンサルティングの個人情報保護方針は、下記の通りです。

<https://www.libertas.co.jp/privacy.html>